

# 主日礼拝

2021年2月28日  
午前10時30分

前奏 「深い淵の底から、主よ あなたを呼びます」  
(J.S.バッハ)

参集 (報告・紹介・予定)

## 招詞

深い淵の底から、主よ、あなたを呼びます。  
主よ、この声を聞き取ってください。  
嘆き祈るわたしの声に耳を傾けてください。  
主よ、あなたが罪をすべて心に留められるなら  
主よ、誰が耐ええましょう。  
しかし、赦しはあなたのもとにあり  
人はあなたを恐れ敬うのです。  
(詩編130:1~4)

## 受難節のリタニー

《受難節第2主日》

司式者：私<sup>わたし</sup>たちは、弟子<sup>でし</sup>たちと同じように無<sup>む</sup>関<sup>かん</sup>心<sup>しん</sup>で、  
責任<sup>せきにん</sup>を捨てた<sup>す</sup>ことがあります。これからは  
も<sup>も</sup>と<sup>と</sup>責任<sup>せきにん</sup>感<sup>かん</sup>を強<sup>つよ</sup>めてください。

会衆：主<sup>しゅ</sup>よ、私<sup>わたし</sup>たちを<sup>あわれみ</sup>導<sup>みちび</sup>いてください。

司式者：弟子<sup>でし</sup>たちが「目<sup>め</sup>を覚<sup>さ</sup>ましていなさい」との  
イエスさまの言<sup>ことば</sup>葉<sup>は</sup>にもか<sup>か</sup>わらず、居<sup>い</sup>眠<sup>ねむ</sup>りを  
して<sup>し</sup>て<sup>て</sup>いた<sup>い</sup>こと<sup>こと</sup>を思<sup>おも</sup>いつつ、この<sup>こ</sup>ろ<sup>ろ</sup>う<sup>う</sup>そ<sup>そ</sup>く<sup>く</sup>を  
消<sup>け</sup>します。(消火)

## 祈禱

## 献金

献金箱が受付に置いてあります  
ので、礼拝前にお献げください。

## 主の祈り

天<sup>てん</sup>にまします我<sup>われ</sup>らの父<sup>ちち</sup>よ、  
ねがわくはみ名<sup>な</sup>を<sup>あがめ</sup>させたまえ。  
み国<sup>くに</sup>を<sup>きた</sup>らせたまえ。  
み<sup>み</sup>こ<sup>こ</sup>ろ<sup>ろ</sup>の<sup>てん</sup>天<sup>てん</sup>に<sup>なる</sup>ごとく  
地<sup>ち</sup>にも<sup>な</sup>させたまえ。  
我<sup>われ</sup>らの日<sup>にち</sup>用<sup>よう</sup>の糧<sup>かて</sup>を、今<sup>き</sup>日<sup>じつ</sup>も<sup>あ</sup>た<sup>た</sup>え<sup>たま</sup>え。  
我<sup>われ</sup>らに<sup>つみ</sup>罪<sup>つみ</sup>を<sup>お</sup>か<sup>す</sup>者<sup>もの</sup>を我<sup>われ</sup>ら<sup>が</sup>ゆ<sup>る</sup>すごとく、

我<sup>われ</sup>らの罪<sup>つみ</sup>を<sup>も</sup>ゆる<sup>し</sup>たまえ。  
我<sup>われ</sup>らをこ<sup>こ</sup>ろ<sup>み</sup>にあ<sup>あ</sup>わ<sup>せ</sup>ず、  
悪<sup>あく</sup>より救<sup>すく</sup>い<sup>い</sup>だ<sup>だ</sup>した<sup>ま</sup>え。  
国<sup>くに</sup>とち<sup>ち</sup>か<sup>か</sup>らと<sup>さ</sup>か<sup>か</sup>えと<sup>は</sup>限<sup>かぎ</sup>り<sup>な</sup>く<sup>な</sup>ん<sup>じ</sup>の<sup>もの</sup>  
な<sup>な</sup>ら<sup>ば</sup>な<sup>り</sup>。  
ア<sup>ア</sup>ー<sup>ア</sup>メン。

## 聖書 マタイによる福音書 12:22~32

新約(新共同訳) P22

そのとき、悪霊に取りつかれて目が見えず口の利  
けない人が、イエスのところに連れられて来て、  
イエスがいやされると、ものが言え、目が見える  
ようになった。群衆は皆驚いて、「この人はダビ  
デの子ではないだろうか」と言った。しかし、フ  
ァリサイ派の人々はこれを聞き、「悪霊の頭ベル  
ゼブルの力によらなければ、この者は悪霊を追い  
出せはしない」と言った。イエスは、彼らの考え  
を見抜いて言われた。「どんな国でも内輪で争え  
ば、荒れ果ててしまい、どんな町でも家でも、内  
輪で争えば成り立って行かない。サタンがサタン  
を追い出せば、それは内輪もめだ。そんなふうで  
は、どうしてその国が成り立って行くだろうか。  
わたしがベルゼブルの力で悪霊を追い出すのなら、  
あなたたちの仲間は何の力で追い出すのか。だか  
ら、彼ら自身があなたたちを裁く者となる。しか  
し、わたしが神の霊で悪霊を追い出しているのだ  
れば、神の国はあなたたちのところに来ている  
のだ。また、まず強い人を縛り上げなければ、ど  
うしてその家に押し入って、家財道具を奪い取る  
ことができるだろうか。まず縛ってから、その家  
を略奪するものだ。わたしに味方しない者はわた  
しに敵対し、わたしと一緒に集めない者は散らし  
ている。だから、言うておく。人が犯す罪や冒瀆  
は、どんなものでも赦されるが、“霊”に対する  
冒瀆は赦されない。人の子に言い逆らう者は赦さ  
れる。しかし、聖霊に言い逆らう者は、この世で  
も後の世でも赦されることがない。」

## 賛美 539 (1,3,4) 「見よ、闇の力」

Ὁ γὰρ βλέπεις τοὺς σαρρήττοντας  
詞: Andreas (Crete), 860?-740

WALDA  
曲: Lloyd A. Plautsch, 1921-

1 みよ、やみのちから地を-おおい、  
3 「かみなどいない」とひそ-やかに  
4 わがたたかいてもよわ-さをも ▶

あくのしはいせま-りくる。  
ささやくこえきく-ときも、  
▶ イスはともににな-われる。▶

主にあるたみよ、おそれるな、  
主にあるたみよ、おびえるな、  
▶ このくるしみはいつの日か▶

十字架をかかげてたち-むかえ。  
しゅうりをしんじてかた-くたて。  
▶ しゅうりとへいわにかえ-られる。

## 説教「悪と戦い続ける」

## 賛美 531 「主イエスこそわが望み」

Be Thou my vision  
詞: アイルランドの賛美歌, 8世紀

SLANE  
曲: アイルランド民謡

1 主 イエス-こそわがのぞみ、  
2 主 イエス-こそわがつるぎ、▶  
3 こころ-みの世にありて

わがあこがれ、わがうた。  
▶ わがよろこび、わがたて。▶  
つみのちから、死のやみ

ひる-も-よるもみちびく-  
▶ ただ-主-こそわがかみ-、▶  
とり-か-こみてせまれど-

わがひか-り、わ-がちから。  
▶ わがたか-ら、わ-がすべで。  
なお主こ-そ、わ-がのぞみ。

## 派遣

司式者 主は言われます。  
「わたしは誰を遣わすべきか。」  
会衆 わたしがここにおります。  
わたしを遣わして下さい。

## 祝祷

## アーメン

アーメン アーメン アーメン

## 後奏 「主イエスこそわが望み」 (Z.ガルドニ)

司式 大代 恵  
説教 向井 希夫牧師  
奏楽 玉理 照子

※お立ちになるのが困難な方は、  
座ったままで礼拝をお守り下さい。  
※賛美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。